

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.21 2010年11月15日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ライフサイズ、フルHD多地点接続装置を発表

ライフサイズ・コミュニケーションズ(Logitech Internationalの事業部門、日本法人:株式会社ロジクール)は、フルHD対応の多地点接続装置「LifeSize Bridge 2200(ライフサイズブリッジ)」を発表した。発売は11月中。(11月1日)

「LifeSize Bridgeは、従来当社の専用端末に搭載してきた内蔵MCU技術から得た経験を結集して開発された。ポートあたりの価格は、業界最廉価を実現し、ユニット単体の価格は、他社同様製品の3分の1以下となっている。しかしながら、中央集中型の設置を問わず分散型の設置にも対応し、さらには、高いスケーラビリティをもっている優れたソリューションだ。どの組織規模にも対応すると考えている。」(ライフサイズ・コミュニケーションズ)



LifeSize Bridge 2200 前面 (ライフサイズ資料)



LifeSize Bridge 2200による多地点接続イメージ (ライフサイズ資料)

LifeSize Bridgeは、モジュラー型のフルHDアーキテクチャ

を採用した16ポート搭載の多地点接続装置である。通信プロトコルは、標準規格のH.323とSIPに対応し、720p30、720p60、1080p30などの解像度/フレームレート、また、ポート当たりの帯域は、128kbpsから4Mbpsまで対応している。

複数のビデオ会議を同時に開催することができるとともに、HDとSDの混在会議にも対応し、異なるフレームレート(p30とp60)などでの多地点接続(トランスコーディングやレートマッチング)も可能だ。また会議開催には、スケジュール/オンデマンド/ハイブリッドの3つのモードをユーザのニーズに応じて使い分けることもできる。

その他では、200以上の豊富な解像度で帯域の状況に応じたきめ細かな映像品質を可能にし、また、会議参加者の利便性を考えた12種類の画面レイアウト(多画面分割)では、簡単な操作で好みのレイアウトに簡単に変更できる。加えて、画面には、テキストオーバーレイで、参加者名を表示することもできる。さらには、H.239(デュアルストリーム、データ会議用)や、表示言語も日本語を含めた15言語に対応する。

一方、システム連携面では、ビデオ管理プラットフォーム「LifeSize Control」や、マイクロソフトの「Microsoft Exchange」、Googleの「Google Mail」との連携も可能だ。

さて、前述の通り、このLifeSize Bridgeのアーキテクチャは、モジュラー方式を採用している。MCU自体のシステム柔軟性と、またポート・デンシティ(port density、MCU一台に収容できるポート数を意味する。)を効率的に高めるためだ。

導入においては、まず当初は少ない初期投資で導入し、その後必要に応じてMCUのキャパシティを増強することができるという柔軟性を持たせた設計思想になっている。これにより、システム単体のキャパシティの増強のみな

らず、たとえば、東京とニューヨークにそれぞれ LifeSize Bridge を分散的に配備した状況においても、その使用状況や会社の投資余裕に応じて必要なところに追加配備を行うといったことも可能だ。

さらには、モジュラー方式にした理由がもうひとつある。すなわち、高品質な HD 映像の送受信を実現するための、ポート毎のビデオのエンコードとデコード処理の効率化だ。これを実現するために、LifeSize Bridge は、フラットキャパシティ方式を採用した。

このフラットキャパシティ方式によって、LifeSize Bridge の全てのポートが同じキャパシティを有している。それらのひとつひとつのポートに、エンコーダーとデコーダーが実装されているからだ。そのため、各ポートは、最大 1080p30 のキャパシティをシメトリック(送信/受信の双方向)に送受信することができるようになっている。

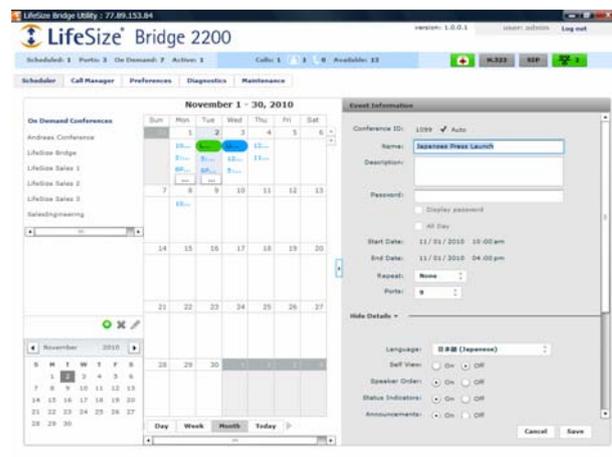
「エンコーダーとデコーダーを複数のポートで共有する方法である、一般的な“シェアード”キャパシティ方式と比べ、当社が採用した“フラット”キャパシティ方式は、MCU のリソースの配分が容易であると同時に、ユーザが望む最大品質を保証できるメリットがある。」(ライフサイズ・コミュニケーションズ)

一方、LifeSize Bridge の操作環境における基本的な機能の設定については、ユーザがリモコンを使わなくても自動でおこなうため、技術に苦手な人でも使いこなせる。また、システム管理者にとっても、管理画面は、直感的で簡単に習熟できる操作環境を提供していると同社では自負する。

よって、その観点から、LifeSize Bridge には、ユーティリティソフトウェアが搭載されている。このソフトウェアは、アドビシステムズ社の「Adobe Air(アドビエア)」アプリケーションをベースに開発されており、Windows や MacOS などのパソコンからネットワーク経由でログインして LifeSize Bridge のシステム設定が行えるようになっている。

ログインすると、まずは、カレンダーなどの機能が表示された画面が現れる。ここから、会議の予約、会議の一覧(予定会議、現在会議中、終了会議の状況)、会議のコントロー

ル(開始やミュート、終了など)、会議や参加者(端末)の情報表示、使用レポート/システム診断データなどの機能を実行できるようになっている。加えて、アラート機能もある。参加端末に問題が発生すれば、リアルタイムでアラートが赤色で表示されることになっている。



LifeSize Bridge スケジュール画面例(ライフサイズ資料)

会議や参加者の情報は、システム管理者として必要な情報が表示されるようになっており、一方、レポート機能では、会議毎のデータが記録され、さまざまな統計情報を取れるようになっている。たとえば、会議の使用時間などの統計から、利用状況の把握あるいは比較など、後のROIの算定や追加設置などの判断資料としても活用できる。

その他、国際間での使用も想定し、LifeSize Bridge は、世界の各国の時間帯について、時差を自動で表示させる機能などもある。

LifeSize Bridge 2200の価格は、オープンプライス。日本では、年間100ユニットの販売を目指す。本体の大きさは、2Uサイズ。高さ:87mm、幅:450.56mm、奥行:513.12mm。重量:12.70kg。

ライフサイズ・コミュニケーションズによると、日本のビデオ会議市場でのシェアは、現在15%-17%で、今後1年半から2年ぐらいで現在の倍のシェアの獲得を狙う、と日本市場での意気込みを見せる。

また、それを加速するために、8月にIT、ネットワーク、

コラボレーション、ワイヤレスコミュニケーションの分野で広範な経験がある石井和彦氏が日本カントリーマネージャとして入社。石井氏の責任は、販売戦略、パートナー戦略などビジネス全般を担当する。

ライフサイズ・コミュニケーションズは、端末からインフラ装置までエンドツーエンドの HD ビデオソリューションを提供している。“電話を置き換えることが当社の目標”と、2005 年業界で初めて HD ビデオ会議システムを発売して以来、「ソリューション」と「プラットフォーム」そして「プライスパフォーマンス」の点で優れていると評価され、グローバル市場でのリーディング企業へと成長してきた。

「当初から一貫して HD 製品を提供してきた。当社の製品は全て標準で HD 対応だ。また SMB から大企業までスケラブルかつ柔軟に対応できる製品群を揃えている。現在すでに、出荷台数は、4 万台以上、日本企業も含め世界 80 カ国以上で1万社以上のさまざまな業種のお客様にご利用いただいている。今後も日本での事業を強力に推進していく考えだ。」(ライフサイズ・コミュニケーションズ)

メディアプラス、クリアワン USB スピーカーフォン「CHAT 150USB」が 2 台までのカスケード接続に対応と発表

株式会社メディアプラス(東京都千代田区)は、同社が販売するスピーカーフォン「CHAT 150USB」が2台までのカスケードに対応したと発表。(10月26日)

CHAT 150USB は、米クリアワン社(ClearOne Communications)が開発・販売する、個人から少人数、さらには中規模までの、小柄な本体ながら幅広い会議用途に最適化されたプラグ&プレイの USB 対応スピーカーフォン。

CNAT 150USB は、パソコンの USB に接続することで VoIP ソフトフォンやインターネット電話、また Web 会議のハンズフリー会話が行けるとともに、パソコンに保存された音楽などのスピーカとしても活用ができる。

CHAT 150USB は、効果的にエコーを消去する分散エコーキャンセレーション機能や、バックグラウンドノイズを消去

するノイズキャンセレーション機能、さらには、高性能の自動レベル調整機能による、ハンズフリー/全二重通話が出来ることが特長。



2 台の CHAT 150USB をカスケード接続した例
(メディアプラス資料)



CHAT150 使用方法例 (メディアプラス資料)

加えて、内蔵マイクを 3 つ搭載しており、2.5m 以上離れた所からの音も 360 度全範囲から捉えることが可能。また今回対応した、2 台を数珠繋ぎしたカスケード(オプション「CHAT Attach 拡張キット」を使用)の状態では、さらに集音範囲も広がり、中規模人数の会議でも活用ができる。CHAT Attach 拡張キットのケーブル長は、3m となっている。

さらには、専用の接続キット(オプション)を使うことで、テレビ会議専用端末や、アバイアやシスコなどの固定の電話機への接続も可能だ。

その他、CHAT 150USB には、使用するデバイス設定の切り替えによって、各デバイスに対して CHAT 150USB を最適化する機能や Web 自動アップデートにより常に CHAT150USB 用のソフトウェアを最新に保つこともできる。なお、これらのための設定用ソフトウェアも同梱されている。対象ソフトウェアは、Windows XP 以上。

CHAT 150USB のサイズは、18.8cm(W) x18.8cm(D) x4.6cm(I)。重さは、530g。CHAT 150USB のデモは、メディアプラスにて体験可能。

ブイキューブの V-CUBE セミナー iPhone 対応

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、「V-CUBE セミナー」を iPhone で受講可能にし、11月18日に Apple Store に正式申請することを発表した。(10月18日、発表、申請日。)

主な機能としては、ライブに特化し、リアルタイムな受講が可能で、セミナーへの参加は、招待メールの URL からワンクリックでアクセスできる。また、ホワイトボード、チャット、アンケート機能を搭載している。推奨環境は、iPhone 4 IOS4 以上 /3GS 以上。

ブイキューブは、マルチデバイス対応を強化していく中で、会議だけでなく、セミナーも「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」受講できるビジネスシーンを想定しているという。今回、iPhone が対応することで、会場に足を運ぶセミナーとは違う、講師や参加する側の新感覚に加え、主催者側としては、場所が限定されないという点で参加者を多く募ることができ、セミナーの活性化や継続につながるとメリットを説明する。

費用例としては、1ヶ月に1回、60分セミナーを25拠点に配信した場合(月額契約)月間60分、配信25拠点 月額48,300円。

同社では、常にユーザ目線で開発に注力し、来年度約100社の導入と約1億円の売上を見込んでいる。また今後は、iPadにも対応する予定という。

ビジネス動向-国内

ブイキューブとサイボウズ総研が共同開発および販売に合意

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)、サイボウズ株式会社(東京都文京区)、サイボウズ総合研究所株式会社(東京都文京区)の3社は、大規模向けグループウェア「サイボ

ウズ ガルーン 3」とブイキューブの Web 会議システム「V-CUBE ミーティング」の製品連携で共同開発および販売を行うことで合意したと発表。(10月15日)

この製品連携によって、ガルーン 3 の施設予約と V-CUBE ミーティングの Web 会議室の予約、変更、削除の一元管理が可能となり、ガルーン 3 上に V-CUBE ミーティング Web 会議室の予約情報を他の施設・会議室と同様に一覧表示できるようになった。

一元管理によって、ガルーン 3 から社内会議室と Web 会議室と参加者のスケジュールを同時に確認し、予約、変更、削除ができる。加えて、ガルーン 3 の通知機能を使うことで、V-CUBE ミーティング Web 会議室の予約、変更、削除の情報を受け取れる。一方、Web 会議への参加については、ガルーン 3 に登録されているスケジュールからワンクリックで行えるようになっている。

この予約の一元管理については、双方の製品を利用中のユーザから多くの要望をいただいていた点で、これによって、両システムそれぞれで操作を行う手間が省けるとともに、社内に流通する通知情報の集約も行えるため、業務効率を向上させるメリットがあると説明する。

両製品ともに、提供環境は、クラウド/SaaS、もしくは、オンプレミス(社内導入)環境の両方に対応している。販売は、サイボウズ総合研究所とブイキューブより販売を開始する。サイボウズ総合研究所は、サイボウズ製品のカスタマイズなどのシステムインテグレーション事業を行う会社。

ライセンス費用は、V-CUBE ミーティングの Web 会議室毎の課金で、SaaS 版では、初期費用無料、月額1万円(予定)/会議室。オンプレミス版は、別途問い合わせ。

メディアプラス、ISO 9001 品質マネジメントシステムの認証を取得

株式会社メディアプラス(東京都千代田区)は、認証機関 DNV CERTIFICATION B.V., THE NETHERLANDS より、ISO 9001:2008/JIS Q 9001/2008(品質マネジメントシステム)の認証を取得したと発表。(10月21日)



認証範囲は、テレビ会議システム及びオーディオ会議システム、コンピューター関連機器、音響映像機器、関連するソフトウェア等の開発(ソフトウェアのみ)、輸出入、販売、設置工事及び保守管理業務。

務。

NTT ビズリンク、IT サービスマネジメント国際規格 ISO20000 の認証取得

NTTビズリンク株式会社(東京都文京区)は、8月18日付で、IT サービスマネジメントの国際規格である「ISO20000」の認証を同社が提供するテレビ会議サービス「フレッツ IP 多地点接続サービス」を対象として取得したと発表した。(9月1日)

NTT ビズリンクは、テレビ会議多地点接続サービスの運用・保守に対するユーザの信頼性向上および業務改善を目的として前年度から IT サービスマネジメントシステムの構築に向けて取り組んできたという。同社では、レンタルサーバサービス「BizLink メール&ウェブサービス」に引き続き2例目の同認証取得になる。

認証基準は、ISO/IEC 20000-1:2005 / JIS Q 20000-1:2007。対象組織は、ヴィジュアル・コミュニケーション事業部。登録範囲は、フレッツ IP テレビ会議多地点接続サービスに関する IT サービスマネジメントシステム。

ビジネス動向-海外

リードテック、次世代マルチメディアフォンを中華電信へ出荷

Leadtek Research(台湾、以下 LEADTEK)は、同社の次世代マルチメディアフォン「AMOR8210」を中華電信股份有限公司(台湾、中華電信)に出荷し、台湾国内にて販売展開が開始されたことを発表した。日本法人は、リードテック

ジャパン株式会社(東京都渋谷区)。(10月29日)



AMOR8210(LEADTEK 資料)

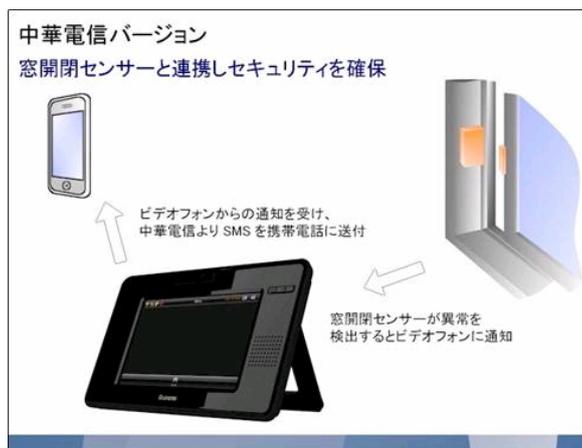
AMOR8210 は、7 インチ高解像度タッチパネルを搭載し、バッテリー及び無線LANを内蔵することで、クレードルより分離してタブレット端末のような操作が可能。また、DECT(Digital Enhanced Cordless Telecommunications)方式のハンドセットを通じ、コードレスにて VoIP および一般電話回線への通話環境も提供する。なお、RJ45とRJ11ポートについては、クレードルに備えられている。

今回、LEADTEK と中華電信とが協業し、マルチメディアサービスの提供を開始する。このサービスでは、映像や音声通話、SMS、ビデオ録画、カレンダー、時計および音楽クリップの再生の他、世界主要都市の天候、公共交通機関のスケジュール、病院の予約やメディカルケア、タクシーの予約、または、宝くじの購入など幅広いサービスを提供するという。

さらに、AMOR8210 を、窓開閉センサーと連携させれば、一般家庭向け映像監視アプリケーションとしてその用途を広げることも可能だ。

この映像監視アプリケーションの仕組みは以下の通りだ。不法進入などでセンサーからの信号を AMOR8210 が受信すると、バックエンドサーバーに映像をストリーミング/保存すると同時に、登録された携帯電話に SMS を送付する。ユーザは、3G 携帯電話より、バックエンドサーバーに接続し記録された映像を確認するか、または、直接 AMOR8210 に接続し、リアルタイムの状況をモニタリング

することが可能だ。



窓開閉センサーとの連携システム (LEADTEK 資料)



遠隔からの PTZ IP カメラ制御 (LEADTEK 資料)

一方で、前述のマルチメディアサービスがない場合でも、LEADTEK は、スタンダードバージョンの AMOR8210 を各国の通信事業者に出荷している。このスタンダードバージョンでは、LEADTEK の SIP ベース PTZ IP カメラである「NSC3622」を用いることで映像監視アプリケーションの強化が可能。また、DECT 方式ハンドセットにより遠隔からの IP カメラのパン/チルト/ズームの制御も可能となっている。

すでに、いくつかの通信事業者では、AMOR8210 と NSC3622 を IMS システムに組み込み、ビデオ電話、遠隔医療、映像監視、あるいは、3G 網との相互運用を SMB 及び家庭向けに提供しているという。

市場調査会社の米インスタット(LEADTEK がプレスリリースにて引用)によると、2013 年までの全世界でのメディアフォンの出荷は、2,300 万~4,800 万台という。そういった中で、

LEADTEK では、家庭やオフィスの既存の電話を置き換え、マルチメディア機能を搭載した AMOR8210 を次世代のテレコミュニケーション機器として普及させたい考えだ。

中華電信は、台湾最大の電気通信事業者。台湾証券取引所上場済み。従業員数 24,398 名、2009 年の売上高は、62 億米ドル(約 5,000 億円)。ブロードバンドシェア 83%、携帯電話シェア 34.4%。台湾での電信事業は、長く国営であったが、1996 年まず国営企業として中華電信が誕生。その後株の一般公開等が行われ、政府の株保有率は、50%を下回った。しかし現在でも最大株主は、台湾政府となっている。

関連記事(AMOR8210):Vol.12 No.11 2010 年 6 月 15 日号

海外記事抄訳

VGO, 遠隔操作ができる双方向映像通話が行えるアクティブプレゼンスロボット

Want to "go" somewhere with your video? Why not VGO with its robotic system?

Elliot Gold's Electronic TeleSpan September 13th, 2010 Volume 20 Number 20(CNAR 橋本抄訳)

「モビリティが必要なところに、ビジュアルソリューションを提供することが当社ビジネスの目的だ。」と説明するのは、VGO でプロダクトマネージメント&マーケティング担当副社長 を担当する Ned Smonite 氏。「たとえば、遠いところのある人に訪問するでしょう。その時に、その訪問先に私が物理的に移動せずとも、そこに VGo があれば、その VGo を遠隔操作してその人のところに“移動”させることで、その人に(その VGo 端末を通して)“会う”といったことが行える。今の段階では、画面上から遠隔操作することで VGo を動かすことができるが、いずれ、VGo にセンサーを装備して自力でその目的のところにナビゲーションできるような仕組みもできればと今開発しているところだ。」

VGo は、4 フィート(約 120cm)、18 ポンド(約 8.1kg)の重さの移動式ロボット。WiFi を使い、遠隔オフィスの VGo を遠隔で操作することができ、また、テレビ会議機能を使うことで、リアルタイムの“訪問”を行える。この点が VGo の

特徴だ。



VGo(VGo 社資料)

また、VGo は、“テレビ会議システム”としては、小さな画面サイズではあるが、7 インチのディスプレイを内蔵し、バッテリーは、どのバッテリータイプを使用するか

によって、6 時間から 12 時間駆動することが可能。加えて、バッテリーが消耗すれば、遠隔からの操作で、近くの充電ステーションに戻して充電させることも可能だ。その際、一回転して充電器に収まる。そして VGo は、次の“仕事”の指示を待つ。

この VGo は、実は、テレビ会議業界経験者が立ち上げた会社。この VGo の製品コンセプトは、彼らのこれまでの経験と、ロボットを組み合わせるといふ創意工夫によるものだ。冒頭の Ned Smonite 氏は、ピクチャーテル社とポリコム社に在籍していた経験がある(2001 年 10 月、ポリコム社とピクチャーテル社が合併。日本法人は、2002 年 1 月。)。またこの VGo 社の CTO でありまた創業者でもある Tim Root 氏もピクチャーテル社とポリコム社での経験がある。さらには、CEO の Brad Kayton 氏も、ポリコム社での経験がある。彼は、Polycom 社の創業者であった Brian Hinman 氏が後に立ち上げた 2Wire 社の共同創業者でもある。そして、John Nye 氏は、アバイア社が買収した Ubiquity 社でセールス&ビジネス開発ロップメント担当副社長だった人だ。

いずれにしても、彼らは、家庭やオフィスでのロボットの可能性を考え、動向をワッチし続けていたという。その中で特に自動掃除機で有名な「iRobot」関心を持った。ちなみに、

この自動掃除機 iRobot は、5 万台も販売されている家庭向けロボットだ。

いや、ここで自動掃除機に、テレビ会議機能を付けようというような話をしているのではない。人と人が使えるような形にするということだ。「たとえば、テレビ会議の機能を組み合わせたロボットを提供すれば、老人介護などで喜ばれるのではないかと考えた。老人介護施設などに入所していない自宅で生活をする老いた親を持つ人達からは、安否確認などができる仕組みがあれば助かるといった声を多数聞いたからだ。」(Ned Smonite 氏)

VGo は、安否確認に留まらず、今後それからもう一段進化させようと計画している。それは、USB ポートを持った VGo に、将来的に、医療用機器を組み合わせようというもの。これによって、家族が両親と VGo を通して会話するだけでなく、かかりつけの医者も遠隔から健康状態を診るためにこの VGo を使うことも可能になるため、VGo が活用できる範囲が広がると期待している。

VGo の販売については、現在 6 社のリセラーが十数台の VGo 端末をデモ用に使って販売活動をおこなっているという。製品の販売は、来月(本記事発行は、9 月 13 日であるため、10 月ということ。)からで、1 台 5,000 ドル。年間の保守サービスが必要な場合は、別途 1,200 ドル/年が必要になる。

Here's what I think(エリオットゴールド氏のコメント)

スターウォーズの R2-D2 が登場したような感じだが、VGo は平和的利用のロボットだ。

さて、私の自宅の近所には、耳の遠い老夫婦が住んでいる。その老夫婦は、自分の子供達(すでに大人になって独立している。)とは一緒には住んでおらず、自分たちだけで生活している。彼らの子供達は、自分の親(その老夫婦)にときおり電話を入れるが、耳が遠いため電話が鳴っても聞こえない時があるそうだ。そういった時は、私へ電話をしてくることになっていて、私は、代わりに、自宅を飛

び出してその老夫婦の家まで走って、様子を見に行くことがある。こういった老夫婦には、この VGo が役に立つのではないかと思った。



Telespan Publishing Corporation
<http://www.telespan.com>

セミナー・展示会情報

<国内>

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程：11月17日(水)、24日(水)

※全ての日程で13:30～14:30、15:30～16:30の2回開催

会場：NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催：NEC、NEC 情報システムズ

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

実践！ビジュアルコミュニケーションの最新活用セミナー

日時：11月18日(木)大阪、11月26日(金)東京

会場：大阪：TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター

東京：TKP 大手町カンファレンスセンター

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・内容：<http://www.vtv.co.jp/seminar/1011vtv/index.html>

*東京のセミナーでは、シード・プランニングの原健二氏が市場動向を講演されますが、大阪セミナーでは、CNA レポート・ジャパンの橋本が講演させていただくことになりました。

ユニファイド・コミュニケーション体験会

日時：11月18日(木) 14:00～16:00

会場：日本アバシア内 セミナールーム(東京都港区赤坂)

主催：日本アバシア株式会社

詳細・申込：<http://www3.avaya.com/jp/events/uc/index.asp>

躍進する中国ビジネス

日中間コミュニケーションで企業力UP！

日時：11月19日(金)14:30～(受付開始 14:00～)

会場：大塚商会 ITソリューションセンター(大阪市)

主催：株式会社大塚商会

協力：株式会社ブイキューブ/ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://event.otsuka-shokai.co.jp/10/1119bb/>

パイオニア遠隔会議 導入支援セミナー

「月間1500回の遠隔会議を成功させる秘訣とは？」

日時：11月19日(金)15:30～17:00 (15:15 受付開始)

会場：パイオニア新宿オフィス 大会議室

主催：パイオニアソリューションズ株式会社

詳細・申込：http://pioneer.jp/ccs/new/seminar_shinjuku.html

クラウドコンピューティング時代における劇的経費削減の方法実際のクラウド利用方法：ワークスタイル革新で劇的経費削減と推進力増強

日時：11月24日(金)13:30～17:00(13:00 開場/受付開始)

会場：渋谷区商工会館 第2会議室

主催：ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込：<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

テレビ会議システム 新製品発表セミナー

Compunetix 社・LifeSize 社製品の提案

日時：11月25日(木)12:45～14:15(受付:12:30～)

会場：日立ハイテクノロジー 九州支店(福岡市)

主催：株式会社日立ハイテクノロジー

詳細・申込：

<http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/seminar/20101125.html>

プロが伝授！成功するネット中継と WebEx 利用の勘所～最新動向と目的に合わせた配信方法選択のコツ～

日時：11月25日(木)12:45～14:00

会場：Web セミナー

主催：シスコシステムズ合同会社

コラボレーション ソフトウェア グループ Web セミナー担当

詳細・申込：

http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/webseminar_112510.html?SourceId=hpg

テレビ会議システム 新製品発表セミナー

Compunetix 社・LifeSize 社製品の提案

日時：12月3日(金)15:00～17:00 (受付:14:30～)

会場：日立ハイテクノロジー 関西支店(大阪市)

主催：株式会社日立ハイテクノロジー

詳細・申込：

<http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/seminar/20101203.html>

テレビ会議を活用した「出張管理・コスト削減」セミナー

日時：12月9日(木) 13:30～(開場 13:00)

会場：ネット・カンファレンス 東京・大阪・名古屋

主催：ネット・カンファレンス株式会社

共催：株式会社JTB中部

詳細・申込：

http://www.net-conference.jp/seminar_jtb_2010_12/

*テレビ会議を利用した3地点(東京・大阪・名古屋) 同時開催セミナー。

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

今週 18 日は、VTV ジャパンの大阪セミナーで「テレビ会議市場の見方と考え方」について講演させていただくことになりました。よろしければご参加いただければ有り難いです。

次号もよろしくお願ひ致します。(橋本)